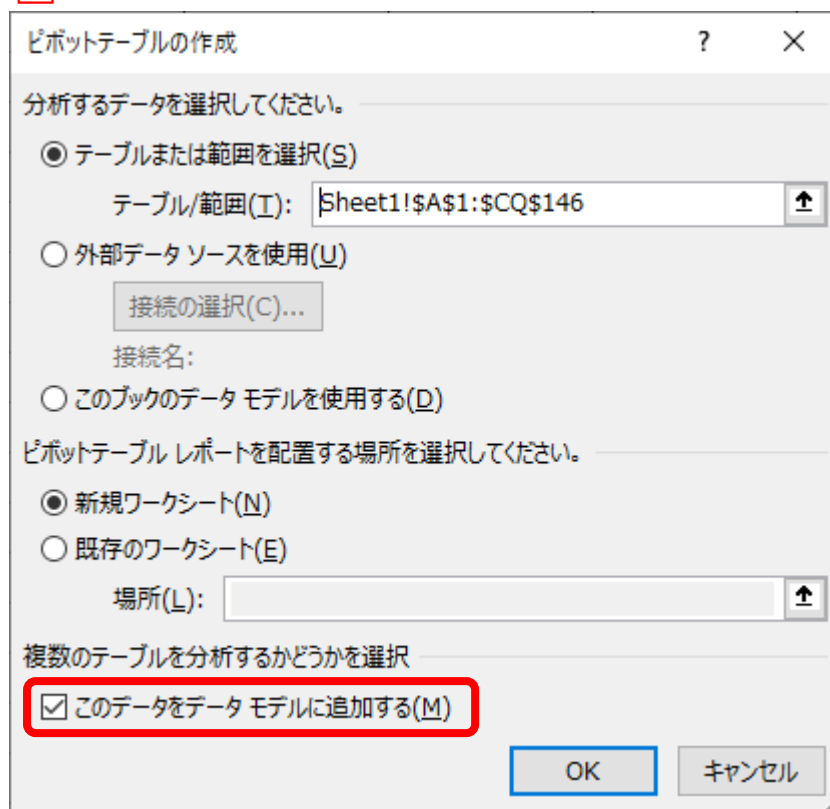


Excel ではじめる調査データ分析（喜岡恵子）

【補足情報】

① p. 125, 図 6.8 ピボットテーブルによる単純集計（2）

図 6.8 ダイアログボックス内「このデータをデータモデルに追加する」にチェック ☒ を入れる。



② p.126, 10 行目に以下を挿入

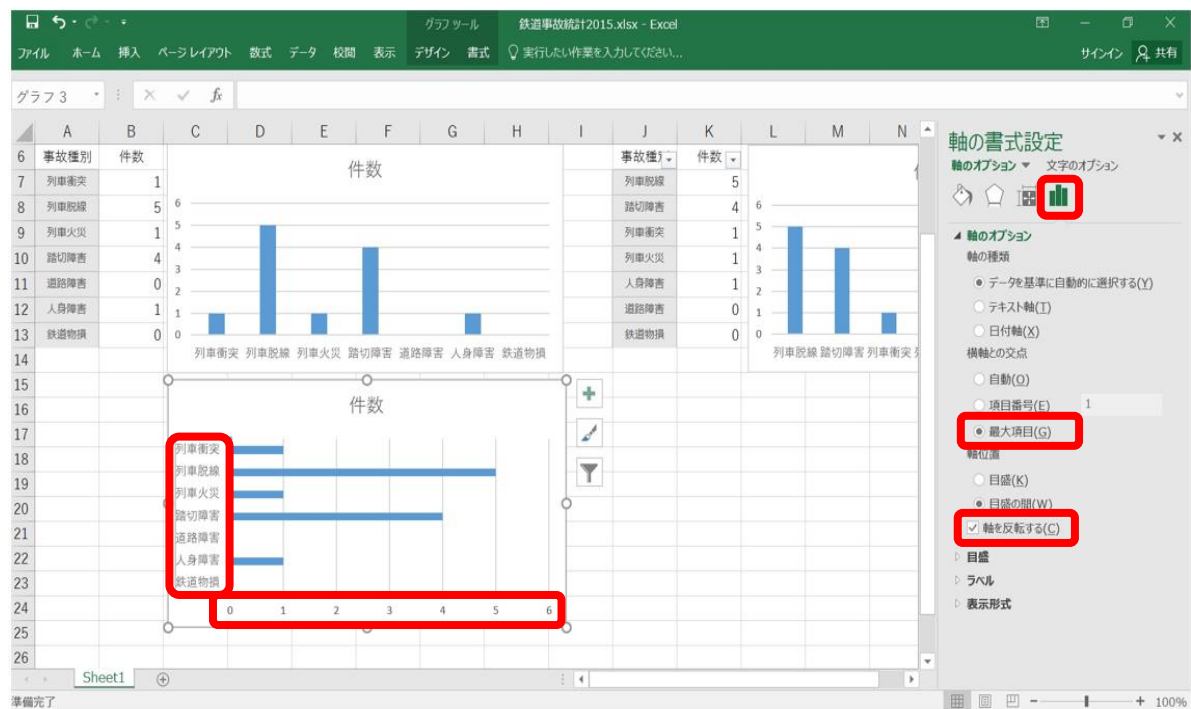
また、すべての項目（変数）の単純集計を行うので、図 6.8 の「ピボットテーブルの作成」ダイアログボックスの下部の「複数のテーブルを分析するかどうかを選択」のところで、「このデータをデータモデルに追加する」のチェックボックスをクリックして、チェックを入れておく（☒）と便利です。入力したデータ全体を「テーブル範囲」として指定して、データモデルに追加しておけば、項目ごとに「テーブル範囲」を入力しなくても済むからです。そして、「OK」ボタンをクリックします。

③ p.161, ③の3行目の該当箇所に以下の赤字部分を追加

そして、「軸のオプション」(図 7.17 の右上の4つのアイコンの中の右端のグラフのアイコン)を選択すると

④ p.162, 図 7.17 集合横棒グラフの作成(4)

(右上の4つのアイコンの中の右端のグラフのアイコンを   で囲む)



⑤ p.172, 下から 1 行目の該当箇所以下に赤字部分を追加

作業ウィンドウが表示される（「軸オプション」(図 7.29 の右上の 3 つのアイコンの中の右端のグラフのアイコン) が選択されている必要がある) ので

⑥ p.173, 図 7.29 グラフ機能によるヒストグラム (3)

(右上の 3 つのアイコンの中の右端のグラフのアイコンを  で囲む)

